

大正区歴史館



大正区が施行されたのは1932年(昭和7年)。現代に受け継がれるまでには様々なドラマがありました。ここでは写真資料として残っている代表的なものをご紹介します。

3分で知る大正の歴史

慶長15年
(1610)

中村勘助による新田開発が始まる。

元禄12年
(1699)

河村瑞賢により難波島中央部の開削工事が行われ、木津川の流路が一直線に。

明和8年
(1771)

平尾新田が検地を受ける。
昭和30年代までネギやスイカを栽培。

明治16年
(1883)

三軒家の大阪紡績会社(現・東洋紡)が日本で初めての蒸気式紡績機をイギリスから輸入。日本一の紡績工業都市へのきっかけに。

民間で初めて
電灯がとりました。

明治22年
(1889)

町村制施行により、西成郡三軒家村・川南村が発足。

明治30年
(1897)

三軒家村および川南村の木津川右岸が大阪市へ編入され、西区に。

大正3年
(1914)

第一次世界大戦勃発。
南恩加島にドイツ兵の
俘虜収容所開設。(～1917)

日本で最初にバウムクーヘンを作った
カール・ユーハイムも収容されていました。



所内での鉄棒の演技の様子▲

大正4年
(1915)

大正橋竣工。
やがて大阪市電
九条高津線が開通。

大正6年
(1917)

西区の西道頓堀・西長堀等から集団移転してきた木材業者により西日本有数の木材市場が誕生。

大正9年
(1920)

この頃沖縄からの出稼ぎ就労者が増加。

大正14年
(1925)

新設の港区に含まれる。

昭和2年
(1927)

鶴町にゼネラルモーターズ(GM)の自動車工場が開業。(～1941)

昭和4年
(1929)

木津川飛行場
供用開始。(～1939)



新木津川大橋の上り口に
碑が建っています。

昭和7年
(1932)

港区より分区され大正区が発足。

昭和15年
(1940)

防潮堤が完成。(尻無川・木津川)

昭和36年
(1961)

国鉄大阪環状線全通。大正駅開業。

昭和45年
(1970)

千島公園に昭和山(標高33m)誕生。

頂上から六甲の
山並みが見えます。



植樹祭の様子▶

昭和50年
(1975)

第一回大正区民まつり開催。

平成元年
(1989)

アメリカ映画「ブラック・レイン」で東船町の中山製鋼所がロケ地に。

平成7年
(1995)

なみはや大橋開通。

平成9年
(1997)

大阪市営地下鉄長堀鶴見緑地線開通。
大正駅開業。

平成15年
(2003)

千歳橋完成。

平成24年
(2012)

沖縄本土復帰40周年・大正区制80周年記念事業として、千島公園にて「綱・ちゅうら・エイサー祭～与那原大綱曳in大正区～」開催。

平成25年
(2013)

連続テレビ小説「純と愛」で大正区が舞台地に。

平成28年
(2016)

与那原町(沖縄県島尻郡)と友好交流にかかる確認書を締結。

令和2年
(2020)

TUGBOAT_TAI SHOオープン
千島公園の「昭和山はなのみち」と「千島公園イベント広場『くさっぱひろっぱ』」リニューアル



▲昭和山はなのみち



▲千島公園イベント広場『くさっぱひろっぱ』

地名に残る、大正の歴史

三軒家(旧三軒家村)

木津川尻の小島であったこの地を、木津村の中村勘助が開発しました。その当時に、三軒の民家が建てられたからだといわれています。

小林(小林新田・岡田新田)

東成郡千林村の岡島嘉平次が開墾した小林新田から命名され、小林は千林村から一文字採った呼称であることに由来しています。

千島(千島新田)

千島新田は、東成郡千林村(現旭区)の岡島嘉平次により、宝暦7年(1757年)から順次開発。地名は千林村の「千」と、姓の岡島の「島」をつなぎ合わせて「千島新田」と命名されたことに由来しています。

北恩加島(北恩加島新田)

恩加島新田を2分したときに、南恩加島と北恩加島に分けられました。

北村(泉尾新田)

泉尾新田の開発者である北村六右衛門の苗字から命名したものとされています。

南恩加島(南恩加島新田)

南恩加島新田は、2代・3代岡島嘉平次によって開墾、恩加島新田と称しました。この名称は名前の岡島を恩加島と換用したもののですが、開墾者の恩を忘れぬようにしたいという意味もあったようです。

平尾(平尾新田)

大阪江戸堀の平尾与左衛門が開拓。与左衛門の姓をとって「平尾新田」と命名されたといわれています。

泉尾(泉尾新田)

泉尾のくにおおとくやんつのお
和泉国大島郡尾村の北村六右衛門が開墾。開発者の北村六右衛門の国名「和泉」と村名「尾」から一文字づつを採り命名したといわれています。

鶴町・船町・福町

「鶴町」は万葉集巻六の田辺福麻呂がよんだ「潮干れば葦垣に騒ぐ白鶴の妻よぶ声は宮もとどろに」の鶴と、「船町」は同じく「あり通う難波の宮は海近み海女娘らが乗れる船見ゆ」の船と、「福町」は詠者の名前からとったものです。

以下は、広告スペースです。

研磨・研削・研掃でお困りの方は、
まずは弊社にお電話で御相談下さい。

国内外大手メーカーとの共同開発実績もあり様々な御提案が可能です。

お客様のあらゆるニーズに対応可能なサービスを実現

研磨・研削・研掃の総合メーカー
株式会社太陽商会

〒551-0001 大阪市大正区三軒家西2-19-7
http://www.sunpower-web.co.jp
TEL. 06-6553-5581(代)
FAX. 06-6553-5583
SUNPOWER サンパワー

※サンパワーは、太陽商会のブランドです。

以下は、広告スペースです。

循環型経済へレアメタルのリサイクル

富士マテリアル株式会社の仕事は、ニッケルやコバルト、チタンなど様々な「レアメタル・レアアース」と呼ばれる貴重な金属をもう一度使えるようにリサイクルすること。廃棄される工業製品、機械、工具、電池などから希少な金属を回収・再生し、リサイクル原料として再利用のお手伝いをします。限りある資源を活かし、地球環境にやさしい社会づくりに貢献しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

富士マテリアル株式会社
本社/大阪市浪速区元町1丁目5番7号(ナンバプラザビル10階) TEL:06-6630-7066
■大正倉庫/大阪市大正区三軒家東3丁目7番14号

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。